尼崎臨海部を万博海上交通に活用！

尼崎市臨海部の尼崎西宮芦屋港で大阪・関西万博などの建設資材を輸送する埠頭の整備を決めました

東海岸町フェニックス用地に大阪・関西万博への海上アクセススペースを設け会場外駐車場を整備し、入場者を海路で会場に。また、公共岸壁を整備し建設資材輸送に活用を予定しています。

尼崎西宮芦屋港で今年度、現行の港湾計画を改定して新たな長期構想の策定を目指しています。この構想は2050年を目標年次とし、東海岸町沖地区や東海岸町地区、末広地区は「物流関連ゾーン」に位置づけ、埋め立て用地への企業誘致や、砂利・砂バルク貨物の拠点化を目指します。東海岸町地区と末広地区の埠頭間を結ぶ連絡道路を整備し、国道43号線の渋滞緩和などに対応する事も検討。私は整備までの期間、湾岸高速の東海岸～末広間の無料化を提案しています。

都市農業の振興へ 販路拡大などさらに

市街化区域の多くの農地（生産緑地）が宅地化すると懸念された2022年問題ですが、尼崎市の対象農地約９割が引き続き生産緑地としての指定を受けます。

この背景に、都市計画法の改正や関連法の整備で、指定を10年継続でき、税制特例が認められる「特定生産緑地」制度が新設されたことが大きいと言えます。**都市農地が「宅地化すべき」から「都市にあるべきもの」と政策が転換され、さらに第三者に貸すこともできるようになって市内でも就農を希望する新規参入者が増えており、地域活性化につながる効果も期待できるのではないでしょうか。**私は議員団の「都市における農業問題プロジェクト」代表として、長年にわたり生産緑地制度や相続税の納税猶予などの堅持・改善に取り組んできました。これからも尼崎市産「あまやさい」のＰＲや販路拡大など、都市農業の振興に努めていきます。

尼崎市こども家庭センター 設置めざし基本方針定める

設置される「あまがさき・ひと咲きプラザ」。県こども家庭センターと同じ敷地内です

尼崎市はこのほど、こども家庭センター（児童相談所）を設置するための基本方針素案をまとめました。令和４年度から若王寺の**「あまがさき・ひと咲きプラザ」に整備予定で、８年度からの運営をめざします。**

児童虐待などの予防から自立まで一貫して支援する拠点で、子供の育ち支援センター「いくしあ」と一体的な運営を行うのが特徴です。私は子供の一時保護（定員30人）といった機能のほか、一人ひとりに寄り添った支援ができる人材配置・育成など、県のこども家庭センターとも連携した職員のスキルアップを支援していきます。

園田西武庫線 新藻川橋右岸に信号機設置へ

令和５年の供用開始を目指して工事を進めている園田西武庫線の新藻川橋右岸側交差点は、藻川に沿って堤防道路が南北に続き車の抜け道となっています。当然、信号機の整備が必要ですが、設置時期が決まっていません。私は、園田西武庫線の供用開始に合わせての信号機設置を県警察本部に求めています。

※園田西武庫線は国道２号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部市街地における東西幹線道路です。尼崎市北部では、大阪府と連絡する東西道路ネットワークがぜい弱なため、慢性的な交通渋滞が発生しています。

このため、本路線で整備が残っている御園工区及び藻川工区を供用し全線開通することにより、都市内交通の円滑化と都市機能の充実を図ります。